

事務事業名		カメラアホール運営管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																											
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間																												
	施策名	11 生涯学習の推進		区分																												
	基本事業名	01 学習環境の充実		単年度繰返																												
根拠法令		大船渡市民交流館条例、大船渡市民交流館管理運営規則		※期間欄に開始年度を記入																												
所属	部課名	協働まちづくり部中央公民館		【開始年度】																												
	課長名	平野辰雄		平成11 年度～																												
	係名	中央公民館	電話 0192-26-3166	事務事業区分																												
	担当者	江刺雄輝	内線 432			C 施設管理																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																												
<p>・カメラアホールの管理運営を行う事業。内容は、直営で行う業務と指定管理業務に分類される。</p> <p>・直営で行う主な業務は、①施設利用状況の集計業務②使用料の集計・収納業務③指定管理者との連絡調整等④施設設備の修繕、備品・消耗品等の購入関係業務④モニタリング調査の実施及び公表業務。</p> <p>・指定管理業務は、①貸館業務(受付、使用許可、使用料徴収)②施設の維持管理等業務(管理人業務、清掃、各種設備の保守点検等)。</p> <p>・主な事業費は、指定管理者への委託料、光熱水費、燃料費、修繕料等。</p>				<table border="1"> <tr><td rowspan="7">総投入量 (千円)</td><td rowspan="4">事業費</td><td>財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																														
		地方債																														
		その他																														
	一般財源																															
	事業費計(A)	0																														
	人件費	正規職員従事人数																														
	延べ業務時間																															
	人件費計(B)	0																														
	トータルコスト(A)+(B)	0																														

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 施設利用状況の集計、使用料の集計・納入、設備修繕等の維持管理業務、指定管理者への業務委託	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア カメラアホール利用件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア カメラアホール利用件数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア カメラアホール利用件数	件								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・全市民 ・カメラアホール	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 人口※当該年度末</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ カメラアホール施設面積</td><td>m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 人口※当該年度末	人	キ カメラアホール施設面積	m <sup>2</sup>	ク	
名称	単位								
カ 人口※当該年度末	人								
キ カメラアホール施設面積	m <sup>2</sup>								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全・快適に生涯学習活動等が行える。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ カメラアホール利用者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 施設不具合件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ス 施設不具合対応率</td><td>%</td></tr> </table>	名称	単位	サ カメラアホール利用者数	人	シ 施設不具合件数	件	ス 施設不具合対応率	%
名称	単位								
サ カメラアホール利用者数	人								
シ 施設不具合件数	件								
ス 施設不具合対応率	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 生涯学習活動に適した環境を整えられる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	13,695	0	0	0	10,400	0	
		その他	千円	528	506	576	749	500	500	
		一般財源	千円	16,107	15,151	16,156	15,578	15,195	15,478	
	人件費	事業費計(A)	千円	30,330	15,657	16,732	16,327	26,095	15,978	
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	700	700	700	700	700	700	
		人件費計(B)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	33,130	18,457	19,532	19,127	28,895	18,778	
⑤活動指標	ア	件	1,073	1,263	1,541	1,822	1,500	1,500		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	34,796	33,948	33,238	32,476	31,992	32,485		
	キ	m <sup>2</sup>	1,223	1,223	1,223	1,223	1,223	1,223		
	ク									
⑦成果指標	サ	人	11,575	13,916	19,054	23,046	15,000	15,000		
	シ	件	4	11	3	8	4	4		
	ス	%	50	55	33	38	75	75		

事務事業ID	0872	事務事業名	カメリアホール運営管理事業
--------	------	-------	---------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成11年、カメリアホールの開館により貸館業務を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 ・開館当初は清掃、警備等業務を除き直営だったが、平成18年度より指定管理者制度を導入し、貸館業務と施設の維持管理業務を委託している。  
 ・東日本大震災で市内の集会施設が被災したこと等により、カメリアホールの利用件数が増加し盛地区公民館の活動に支障が生じたことから、平成27年度より2階研修室及び毎月第3木曜日は全館を盛地区公民館の占用とした。  
 ・その後、施設利用者の利便性向上を図るため、盛地区公民館と協議のうえ、盛地区公民館に係る2階研修室の占用について、令和4年度から火～木曜日とした。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 ・盛地区公民館から、地区の各種事業に対応するため、2階研修室以外にも、指定した曜日に施設を優先利用させて欲しいとの要望があり、可能な範囲で対応している。また、空調設備の設置要望が出ている。  
 ・施設利用者から、トイレの洋式化の要望が出ている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 施設を適切に管理することにより、安全かつ快適に学習できる環境を提供できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 市民の多様な学習ニーズに対応する環境を提供するためには、市の関与が妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 全市民を対象としており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 人件費、燃料費、電気料など、施設設備の維持管理コストが増嵩しており、これ以上の利用促進は困難な情勢である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 施設の安全性、利便性が維持されず、安全かつ快適な施設利用ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 人件費、燃料費、電気料等が高騰する中、施設を適切に維持管理するために必要な最低限の事業費で行っており、成果を下げずに事業費を削減することは極めて困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 指定管理者制度による管理運営を行っており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 カメリアホールは、全市民を対象とした施設であるとともに、盛地区公民館としての機能を併せ持った施設であることから、今後の地区公民館の地区センター移行を見据え、施設の管理運営方針について検討を深める必要がある。併せて、減免基準の見直しを行ったが、適正な利用者負担のあり方をさらに研究する必要がある。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×	人件費、電気料、燃料費など、施設設備の維持管理コストが増嵩し、コストを維持しながら成果を維持向上させることができない社会情勢になっていることを踏まえ、減免制度の撤廃等、適正な利用者負担のあり方を検討する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	適切に運営管理されている。 施設の維持管理について、指定管理者と情報交換を行い、必要対応について検討する。 減免利用団体等の見直しに取り組んだところではあるが、今後の施設利用のあり方について、さらに検証を深める必要がある。